

ルーフラック

取付要領書

このたびは、トヨタ純正ルーフラックをお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、ルーフラックの取り付け要領について記載してあります。

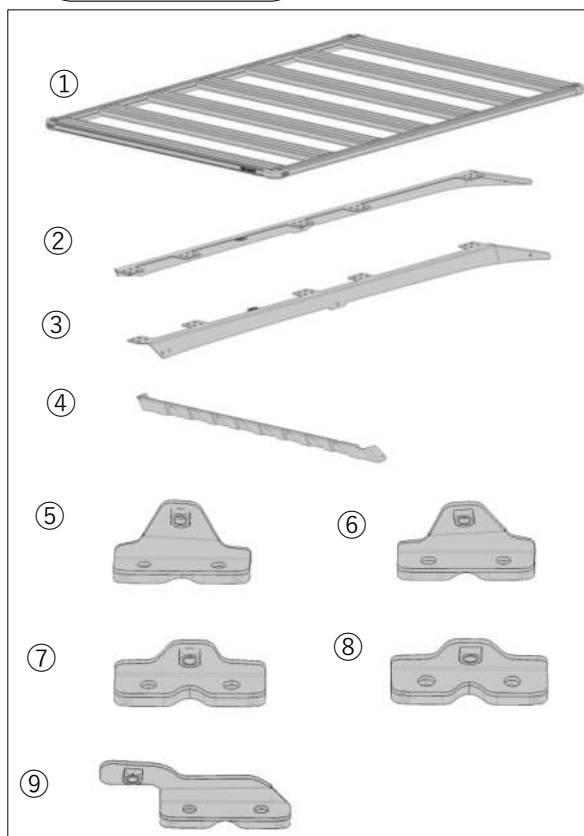
取り付け前に必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

※本取り付けは一時的に6人作業となります。

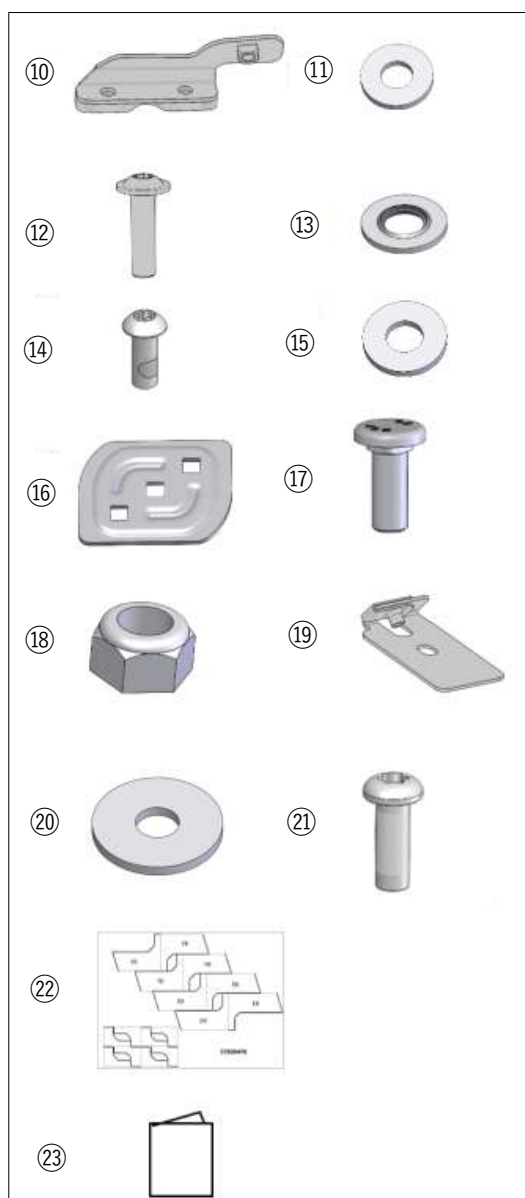
品 番

PC301-60002

構成部品



No.	品 名	個数
①	ルーフトレイ	1
②	ブレードブラケットRH	1
③	ブレードブラケットLH	1
④	エアディフレクター	1
⑤	組付けブラケットFR RH	1
⑥	組付けブラケットFR LH	1
⑦	組付けブラケットMID RH	1
⑧	組付けブラケットMID LH	1
⑨	組付けブラケットRR RH	1



No.	品 名	個数
⑩	組付けブラケットRR LH	1
⑪	平ワッシャー(M10×φ16×1.2mm)	12
⑫	ボルト(M8×30mm)	12
⑬	平ワッシャー(M10×φ16×1.5mm)	12
⑭	ボルト(M8×20mm)	6
⑮	平ワッシャー(M8×φ19×2mm)	30
⑯	スタッドプレート	14
⑰	スタッドボルト(M8×φ20)	24
⑱	ナット(M8)	24
⑲	エアディフレクター取付ブラケット	4
⑳	平ワッシャー(M6×φ20×2mm)	6
㉑	ボルト(M6×16mm)	6
㉒	型紙(海外用)※ 1	1
㉓	取付要領書(英語)※ 2	1

※ 1 同梱の型紙(海外用)は使用しませんので、破棄して型紙(日本用)を使用してください。型紙(日本用)は最終ページにあります。

※ 2 同梱の取付要領書(英語)は使用しませんので、破棄して取付要領書(国内版)をWebよりダウンロードしてください。

補給部品

品 番	品 名	個数
PC301-60004	② ブレードブラケットRH	1
PC301-60005	③ ブレードブラケットLH	1
PC301-60006	④ エアディフレクター	1
PC301-60007	⑮ 平ワッシャー(M8×Φ19×2mm)	2 0
	⑯ スタッドプレート	1 0
	⑰ スタッドボルト(M8×Φ20)	2 0
	⑱ ナット(M8)	2 0
PC301-60008	⑮ 平ワッシャー(M8×Φ19×2mm)	4
	⑯ スタッドプレート	4
	⑰ スタッドボルト(M8×Φ20)	4
	⑱ ナット(M8)	4
	⑲ エアディフレクター取付マウント	4
	⑳ 平ワッシャー(M6×Φ20×2mm)	6
	㉑ ボルト(M6×16mm)	6
PC301-60009	⑤ 組付けブラケットFR RH	1
	⑥ 組付けブラケットFR LH	1
	⑦ 組付けブラケットMID RH	1
	⑧ 組付けブラケットMID LH	1
	⑨ 組付けブラケットRR RH	1
	⑩ 組付けブラケットRR LH	1
	⑪ 平ワッシャー(M10×Φ16×1.2mm)	1 2
	⑫ ボルト(M8×30mm)	1 2
	⑬ 平ワッシャー(M10×Φ16×1.5mm)	1 2
	⑭ ボルト(M8×20mm)	6

取り付けに必要な工具等

リムーバー、トルクレンチ（1/4"および3/8"、8 Nm～24 Nm）、ラチェット、保護シート、踏み台、
 巻尺、ペン／鉛筆、保護テープ、ウエス、ソケットセット（10 mm、12 mm、13 mm）、
 トルクスドライバービットセット（T30・T40）、ソケットエクステンション（1/4"および3/8"）

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

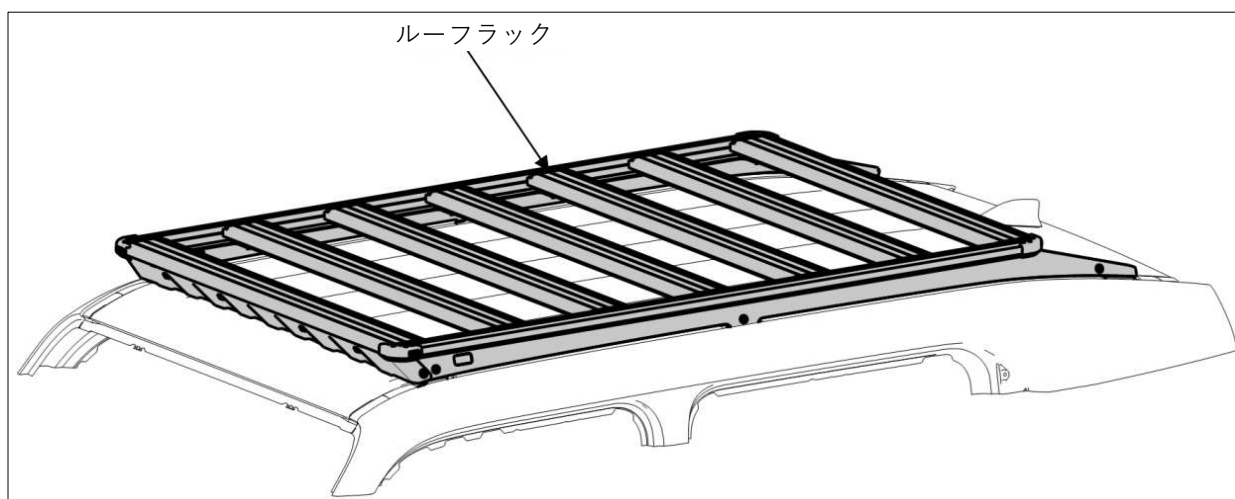
▲ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等のおそれがあることを記載しています。

注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- (1) 部品を取り付ける前に、必ず保護具を使用して車両部品を保護してください。
- (2) 取り付け前に取付要領書/取扱説明書をよく読み、常に指示に従ってください。
- (3) 用品が正しく取り付けられていないと緩み、はずれにより事故につながったり、ケガをしたりするおそれがあります。
- (4) ボデーを傷付けないよう注意してください。
- (5) 特別な指定が無い限り、ボルトは指定のトルクで締めてください。
- (6) 本製品は訓練を受けた技術者による取付けを推奨します。
- (7) 取付中、取付後にすべての部品の作動や隙関係が問題無いか確認してください。
- (8) 車両部品の取りはずし/交換の際には、必ずサービスマニュアルを参照してください。

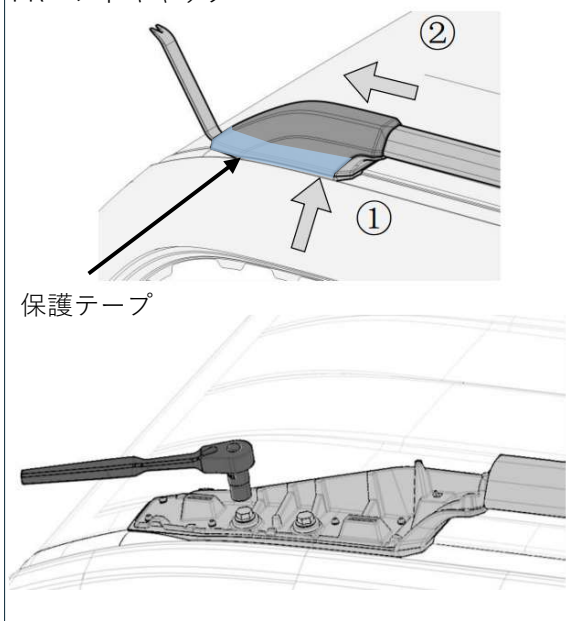
取り付け概要



取り付け要領

※1.～4. の取り付け説明はLH側(助手席側)の工程を行っています。

FRエンドキャップ



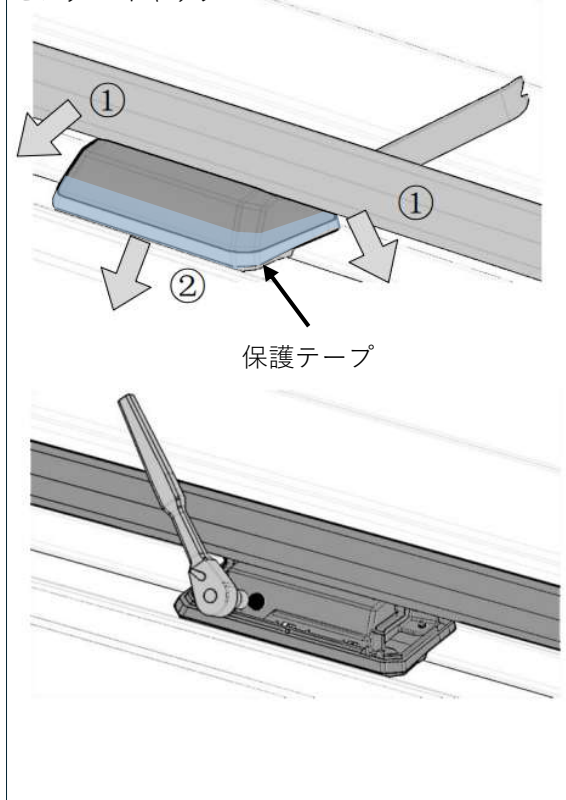
1.FRエンドキャップLH取りはずし

- (1) FRエンドキャップLHに保護テープを貼り
リムーバーを使用して、底部から
①の矢印方向にこじてベースのクリップをはずし、
②の矢印方向にエンドキャップを水平に
スライドさせて取り出す。
- (2) ボルトを取りはずす。
- (3) FRと同じ作業でRRエンドキャップLHをはずす。

注意

- ・取りはずしたボルト、ワッシャー、
エンドキャップは再使用しません。

センターキャップ

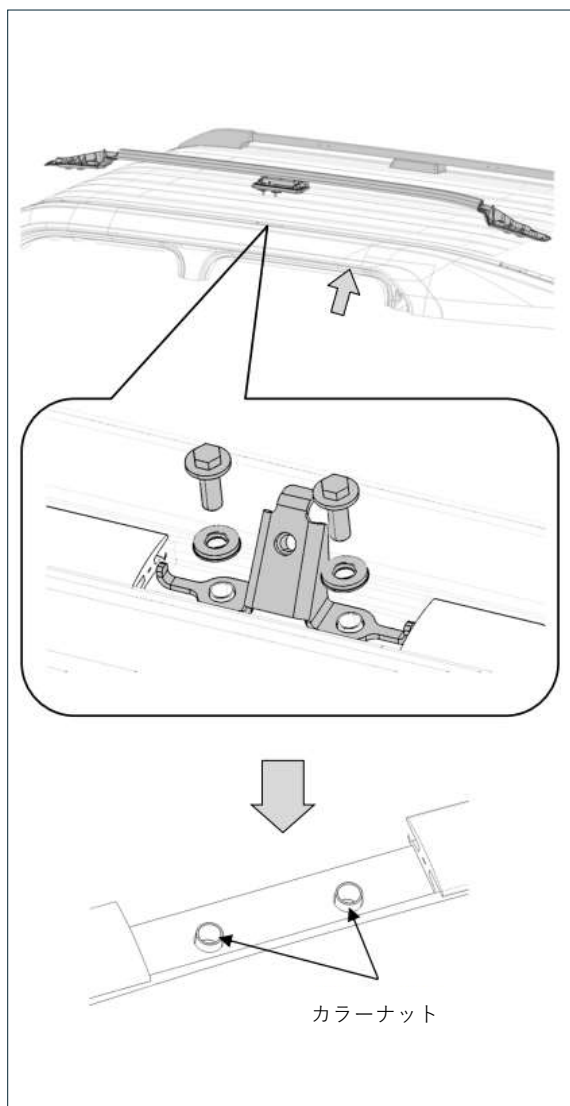


2. センターキャップ取りはずし

- (1) センターキャップに保護テープを貼り
リムーバーを使用して、底部から
①の矢印方向にこじてベースのクリップをはずし
②の矢印方向にセンターキャップを
水平にスライドさせて取り出す。
- (2) ボルトを取りはずす。

注意

- ・取りはずしたボルト、ワッシャー、
センターキャップは再使用しません。



3. ルーフレール取りはずし

- (1) 車両を傷つけないように注意しルーフレールを持ち上げ、取りはずす。
- (2) 中央の取り付け箇所にあるボルトを取りはずす。
- (3) 3箇所の取付面を十分に清掃し、カラーナットが所定の位置にあることを確認する。

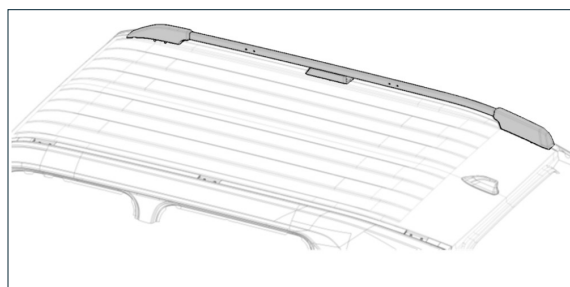
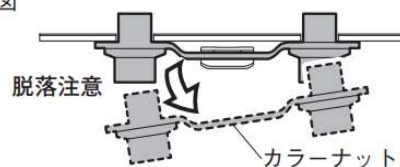
注意

- ・ カラーナットを押し込まないでください。
ルーフライナー内に落ちることがあります。

⚠ 注意

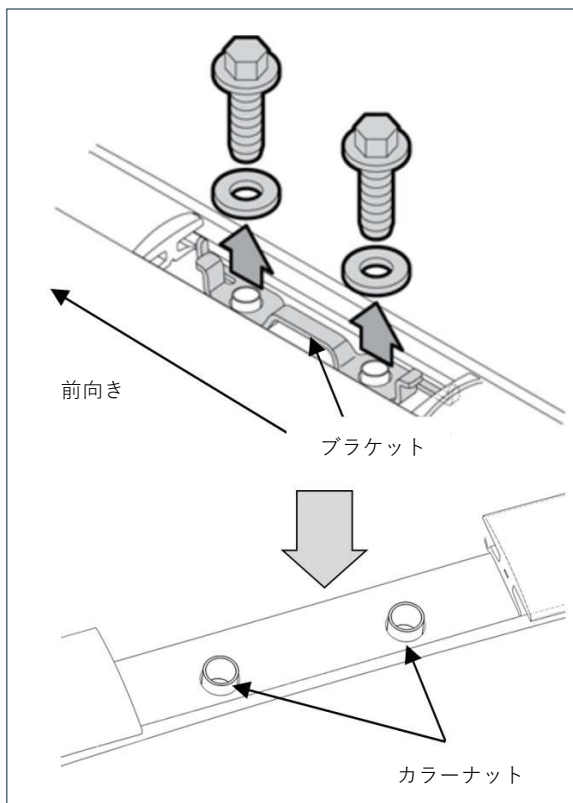
- ・ M8ボルトとブラケットを取りはずす際は、必ず上記の要領に従って作業してください。
もし、要領に従わなかった場合は、カラーナットが脱落する恐れがあります。

断面図



4. 点検とルーフレールRHでの繰り返し

- (1) 取りはずし後、部品を点検し、接触面をすべて清掃する。
- (2) ルーフレールRHでもLHと同じ手順を繰り返す。



5. ボルト、ワッシャー、およびブラケット取りはずし(4箇所)

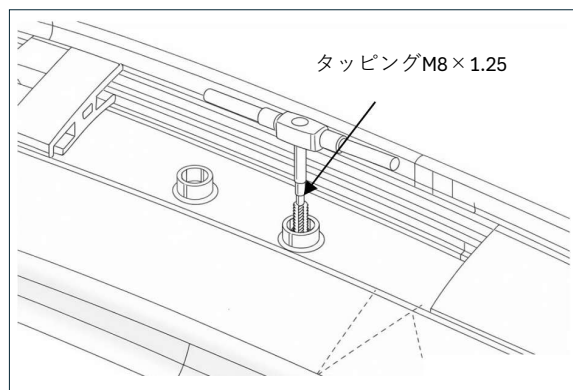
- (1) ボルトとワッシャーを取りはずす。
- (2) 左図に従いブラケットを取りはずす。
- (3) カラーを動かさないようにして取り付け面を清掃する。

注意

- ・ 取りはずしたボルト、ワッシャー、ブラケットは再使用しません。

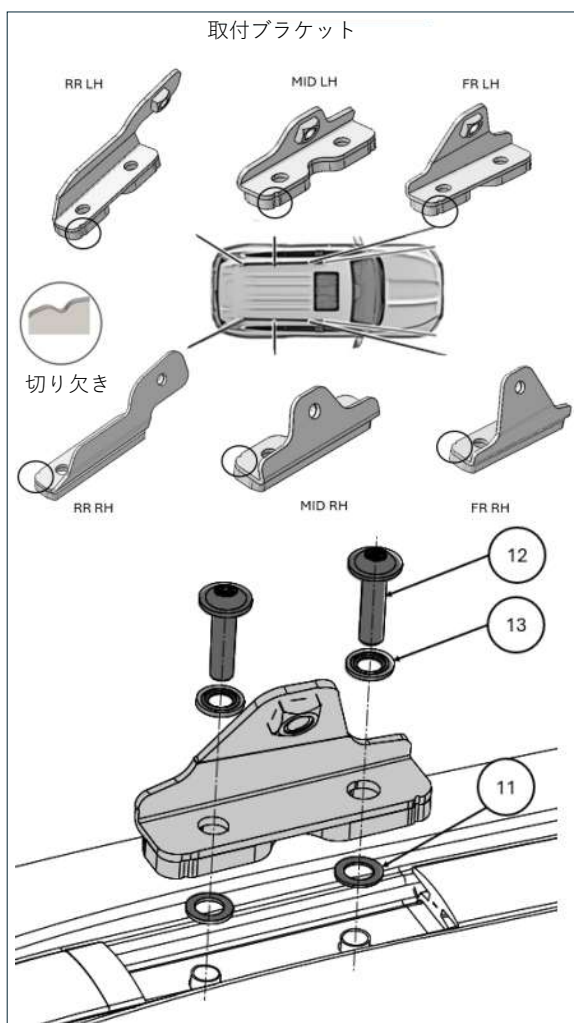
注意

- ・ カラーナットを押し込まないでください。
ルーフライナー内に落ちることがあります。



6. 組付けブラケットをルーフに取り付け

- (1) ⑫ボルト(M8×30mm)を締める前に、M8 x 1.25 のタップ工具を使って M8 x 1.25 ナットを清掃し、ロックタイト(緩み止め剤)を取り除く。



- (2) カラーナットをずらさないよう注意して、
⑪平ワッシャー(M10×Φ16×1.2mm)を
カラーナットの上に置く。
- (3) ⑤～⑩組付けブラケットを所定の位置に合わせる。
- (4) 各組付けブラケットをルーフの取付ポイントに
⑫ボルト(M8×30mm)と⑬平ワッシャー
(M10×Φ16×1.5mm)で締める。
- (5) FR、MID、RRの順で6箇所すべてに同じ手順を
繰り返す。

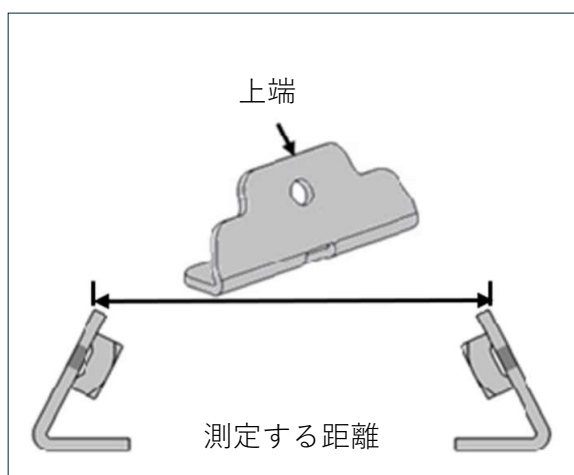
締め付けトルク 22.0 N・m

注意

- ・各ブラケットは図で正しい向きを確認してください。
切り欠きは車両後方に向くようにしてください。

注意

- ・すべてのブラケットが斜めにならないように
取り付けてください。

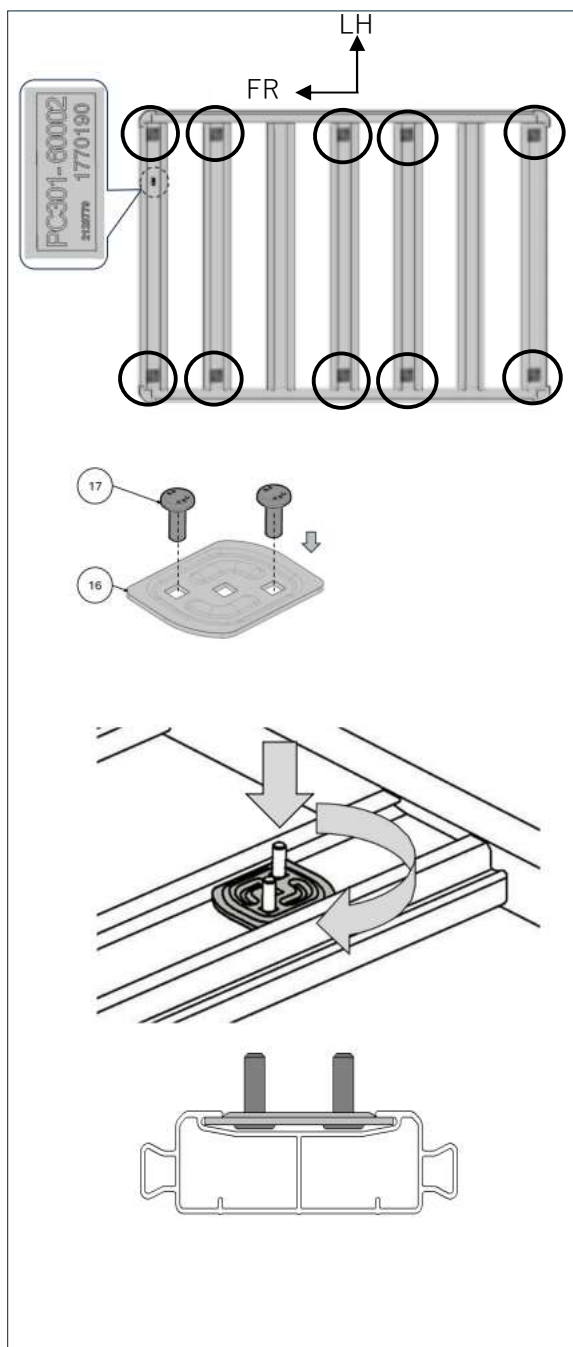


7. 組付けブラケット位置のバラつき比較

- (1) 巻尺を使用し、FR、RRの各マウントの
外側面にあるブラケットの上端から寸法を
測定する。
- (2) 各測定値を記録し、下の表1の基準寸法と
比較する。

表 1

場所	基準寸法 (1)	実測値 (2) (mm)	偏差値 (2)-(1) (mm)
FR	1230mm		
		例：1229	例：1229-1230=-1
RR	1195mm		
		例：1196	例：1196-1195=-1

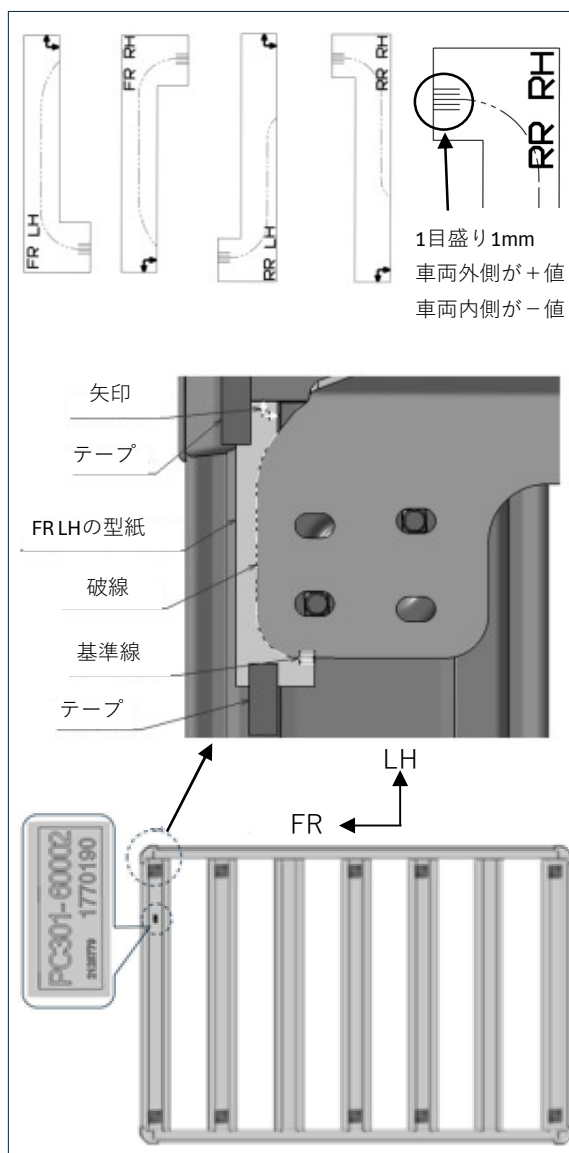


8. スタッドプレート取り付け

- (1) ①ルーフトレイを裏返しの状態で保護シートの上に置き、傷がつかないようにする。
- (2) ⑩スタッドプレートに⑪スタッドボルト(M8×Φ20)を挿入する。
- (3) 挿入した⑪スタッドボルト(M8×Φ20)が落ちないように保持しながら⑩スタッドプレートを裏返し①ルーフトレイのレールに入れる。
- (4) 各⑩スタッドプレートを右に90度回転させてレールにロックする。

注意

- ・スタッドプレートの向きが正しく、スタッドボルトの頭部がプレートの凹部にしっかり収まっていることを確認してください。

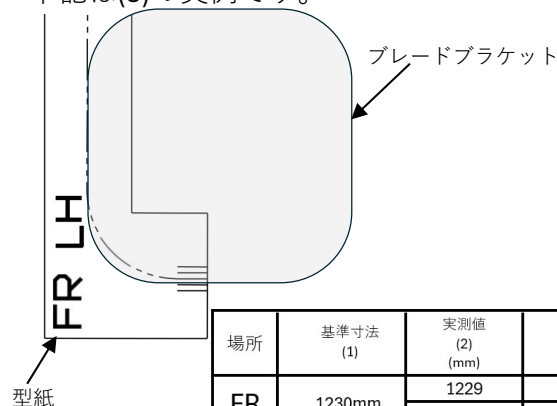


9. 型紙取り付け

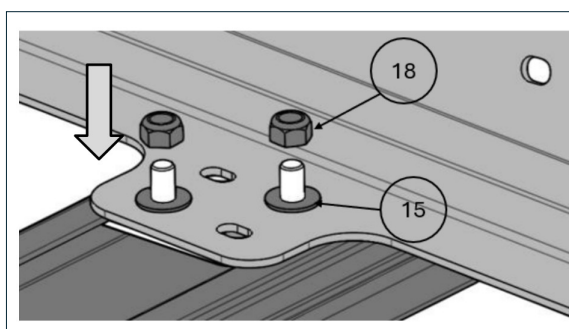
- (1) 最終ページにある型紙を印刷する。
- (2) 印刷した後に、50mmの目盛りの寸法を測定し印刷サイズの確認する。
- (3) 印刷した型紙を切り抜く。
- (4) 型紙に印刷された文字(例:FR LH、RR RH)に合わせて、型紙をそれぞれの角に配置する。
- (5) 左図に従い、型紙上の矢印をラックの端に合わせる。
- (6) マーキングテープで型紙を固定し、動かないようする。
- (7) ②、③ブレードブラケットの前端と後端を型紙上の破線に合わせる。
- (8) ブレードブラケットを組付けブラケットの側面の7.に示された実測値から算出した偏差値を参考に、型紙の基準線を参考に合わせる。
- (9) この手順を4隅すべてで繰り返す。

アドバイス

・下記は(8)の実例です。



場所	基準寸法 (1) (mm)	実測値 (2) (mm)	偏差値 (2)-(1) (mm)
FR	1230mm	1229	-1
		例: 1229	例: 1229-1230=-1
RR	1195mm		
		例: 1196	例: 1196-1195=-1



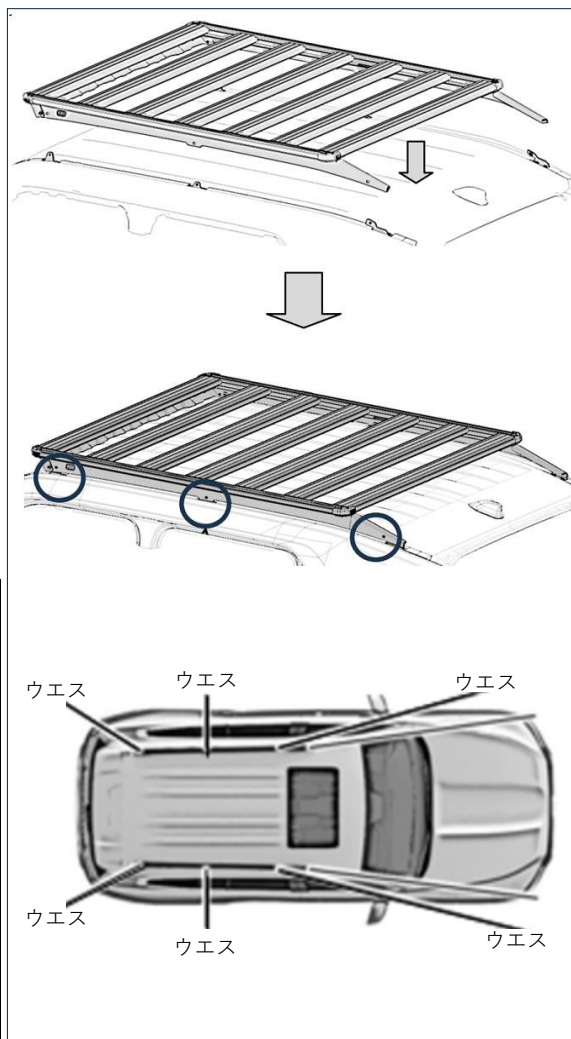
10. ブレードブラケット取り付け

- (1) 位置合わせができれば、各マウントに⑮平ワッシャー(M8×Φ19×2mm)と⑱ナット(M8)を位置調整ができる程度に仮締めする。(LH5箇所)。
- (2) すべての部品を調整し、位置合わせを確認します。
- (3) 指定トルクですべてのナットを締め付ける。
型紙は再度利用するため剥がさないでください。
- (4) ブレードブラケットのRHについても同じ手順を繰り返す。

締め付けトルク 22.0 N・m

注意

・ブレードブラケットを調整するときに型紙が破れるため、2人で作業をしてください。



11. ルーフトレイ組み付け調整

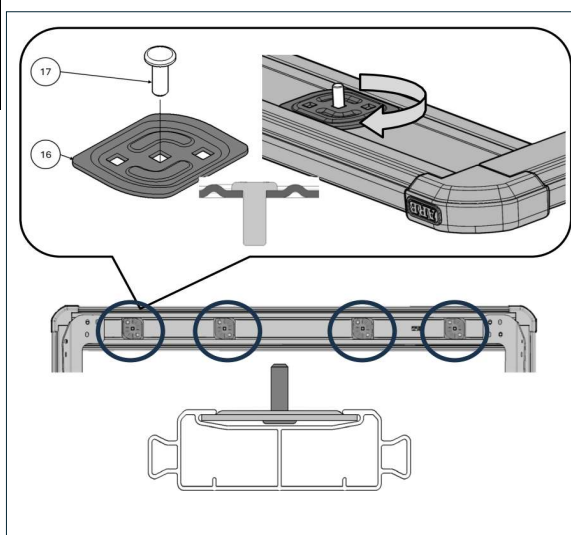
- (1) 補助者とともに、ルーフトレイを慎重に車両のルーフに載せる。
- (2) ②、③ブレードブラケット取り付け穴が⑤～⑩組付けブラケットと正しい位置になっていることを確認する。
- (3) 位置がずれている場合はルーフトレイを取りはずし型紙の目盛りを使用して1mmずつ移動させる。
- (4) 正しい位置になるまで(1)～(3)を繰り返し調整する。
- (5) 正しく位置合わせした後、ルーフトレイを車両から下ろす。

注意

- ・ 取り付ける作業中、車両に傷つきがないようにするためにウエスなどの保護材を敷いてください。

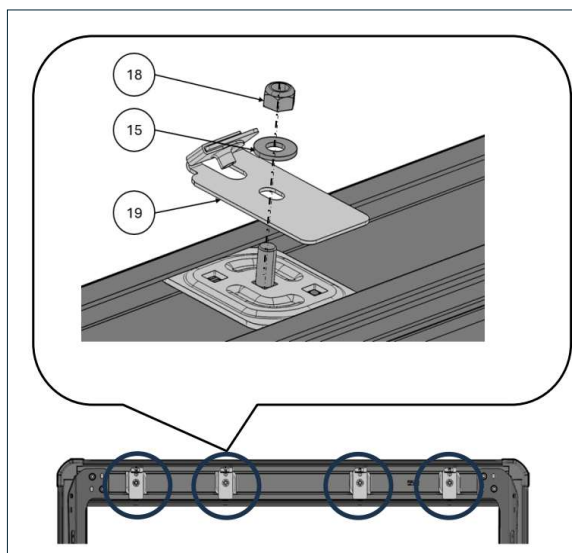
アドバイス

- ・ ウエスは組付けブラケット周囲に敷いてください。



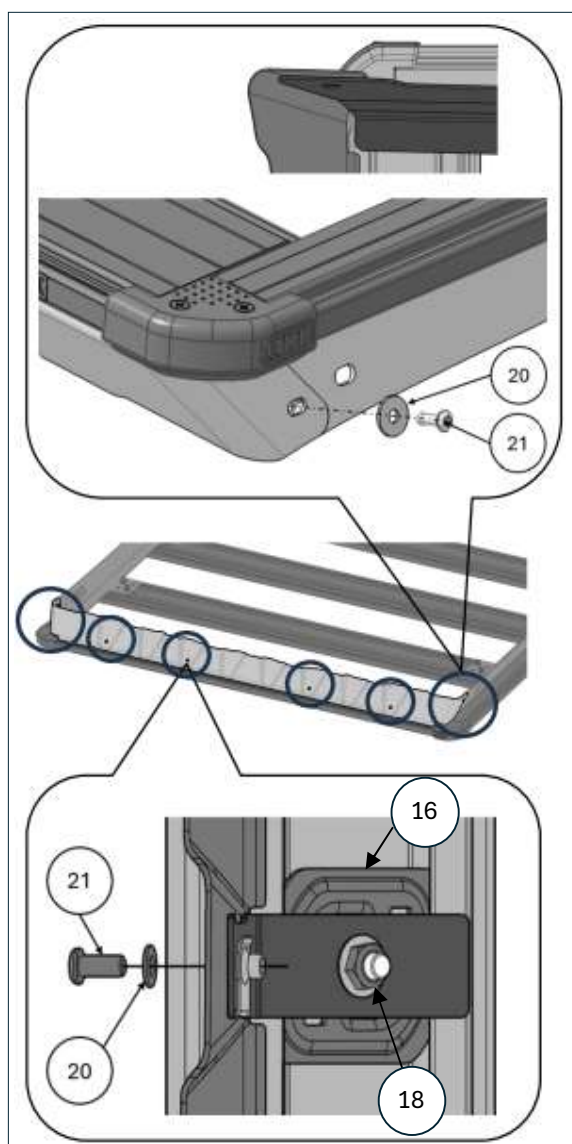
12. エアディフレクター用スタッドプレート組み付け

- (1) ⑩スタッドプレートに⑪スタッドボルト(M8×Φ20)を挿入する。
⑪スタッドボルト(M8×Φ20)が⑩スタッドプレートの凹部にしっかり収まるよう⑩スタッドプレートの向きを正しく合わせる(左図参照)。
- (2) ⑪スタッドボルト(M8×Φ20)が落ちないように押さえながら⑩スタッドプレートを裏返し、組み立てたスタッドプレートをルーフトレイのレールに入れる。
- (3) ⑩スタッドプレートを90°回転させてレールに固定する。
- (4) これらの手順を4枚すべてで繰り返す。



13. エアディフレクター取付ブラケット組み付け

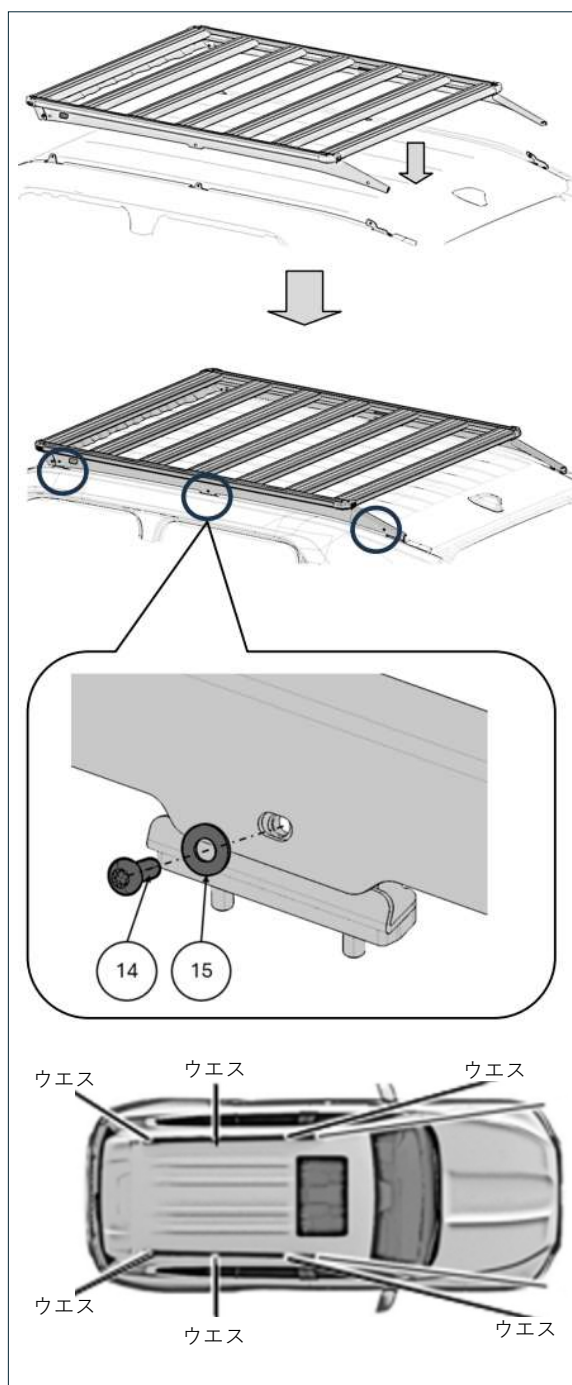
- (1) ⑱エアディフレクター取付ブラケットを
⑰スタッドプレートに取り付ける。
- (2) ⑱エアディフレクター取付ブラケットに⑮平ワッシャー
(M8×Φ19×2mm)と⑮ナット(M8)を位置調整が
できる程度に仮締めする。
- (3) これらの手順を4箇所の⑱エアディフレクター
取付ブラケットに繰り返す。



14. エアディフレクター組み付け

- (1) エアディフレクターの側面から⑳ボルト(M6×16mm)と
㉑平ワッシャー(M6×Φ20×2mm)を挿入し、
T30トルクスドライバーで位置調整が
できる程度に仮締めする。
- (2) レール内の㉒スタッドプレートをスライドさせて
④エアディフレクターの穴に合わせ、
T30トルクスドライバーと13mmソケットを使用して
㉑ボルト(M6×16mm)を位置調整が
できる程度に仮締めする。
- (3) エアディフレクターを取りはずし⑮ナット(M8)を
指定トルクで締め付ける。
- (4) 再度エアディフレクターを取り付け、㉑ボルトを
指定トルクで締め付ける。

ナット(M8)	締め付けトルク	22.0 N・m
ボルト(M6×16mm)	締め付けトルク	9.0 N・m



15. ルーフトレイ取り付け

- (1) すべての調整をした後、9.で付けた型紙をはずす。
- (2) ルーフトレイを補助者とともに、慎重に車両のルーフに載せる。
- (3) 正しく位置合わせされたら、⑭ボルト(M8×20mm)と⑮平ワッシャー(M8×Φ19×2mm)を使用してルーフトレイを組付けブラケットに固定する。
- (4) すべてのボルトを指定トルクで締め付ける。

締め付けトルク 22.0 N・m

アドバイス

- ・ 型紙をはずす際に調整した部品がズレないようにしてください。

注意

- ・ 取り付ける作業中に車両への傷を最小限にするためにウエスなどの保護材を敷いてください。

アドバイス

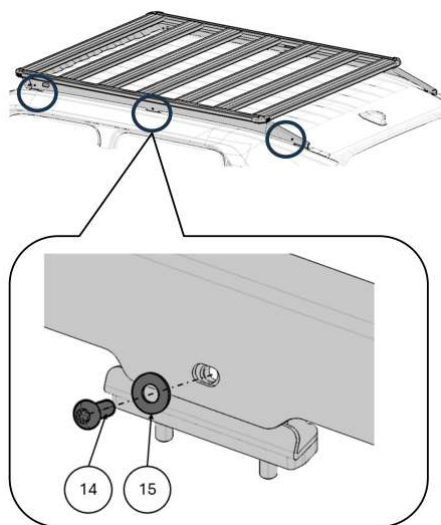
- ・ ウエスは組付けブラケット周囲に敷いてください。

取り付け完了後の点検・注意事項

- (1) ボルト類の締め忘れがないか、組付けブラケット、エアディフレクター、ルーフラックの取り付け状態を再確認してください。
- (2) ルーフラックを上下左右に揺すって、ラックのズレ、各部の緩み、ガタ、異音が無いことを確認してください。
- (3) 上記項目で異常があった場合は、この「取付要領書」の内容を再確認し、確実に取り付けてからご使用ください。

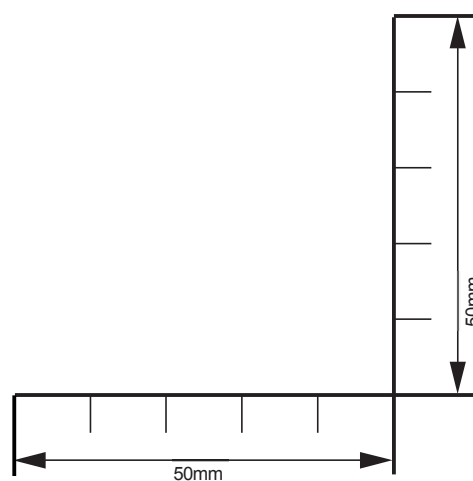
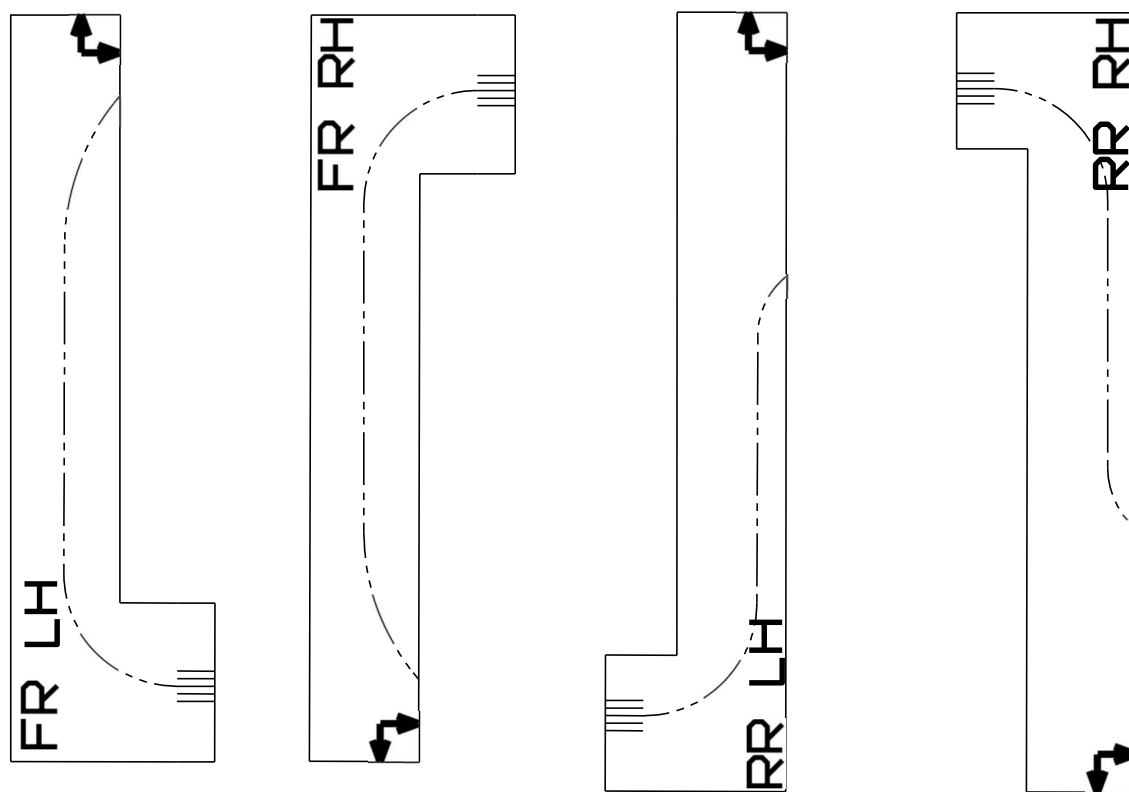
取扱い上の注意事項

1. 本製品の許容積載荷重は40kgです。過積載しますと本品の脱落、破損だけでなく、車両の変形、積載物の落下等の原因となりますので、過積載は絶対に行わないでください。
2. 初期緩み等が発生するおそれがありますので、走行前に必ずこの取付要領書をご確認の上、各部のボルト類を増し締めしてください。またご使用中も定期的に各部品の脱落、振動による変形、緩み、ガタ等がないか確認してください。
3. 積載物はラックに強い衝撃がかからないように静かに積載してください。
4. 積載物が前後にずれないように、ロープおよびベルト等で確実に固定してください。
また、走行時も初期緩み等が発生するおそれがありますので、定期的に積載物が確実に固定されているか、またロープ等の固定具に緩みがないかを必ず確認してください。
5. 本品装着後は、車両の全高が約10mm高くなります。
6. ラック装着および荷物積載時は、トンネルや立体駐車場等の高さ制限のある場所、また看板等の上部に建造物ある場所を走行することを考慮して、車両全高（積載物を含む）を確認しておいてください。
7. 本品を取り付けたままの自動洗車機のご使用は、本品・車両・洗車機の破損、故障の原因となりますので、使用しないでください。
8. ルーフラックのルーフレール部を取りはずして復元 / 再取り付けの際は、再利用不可部品がございますので販売店にご相談ください。
9. 1000kmごとに締め付けトルクを点検・増し締めしてください。



※積載物については制限が設けられています。最新の法令をご確認ください。

型紙（日本用）



Important



切断する前に、50mmの目盛りの長さを必ず確認してください。